

Zultys MXシリーズ導入事例 『エステート白馬』

「Zultys」で新規拠点にVoIP環境
低コスト・短期構築・高付加価値を実現

不動産を営むエステート白馬が、新設オフィスにIPテレフォニーシステムを導入した。機種選定に苦労した末に見つけ出した“最適なシステム”は、日商エレクトロニクスが提供する「Zultys MXシリーズ」だった。

埼玉県と東京・多摩地区を中心に不動産・建設工事業などを手がけてきたエステート白馬(大柳慎三代取締役)は今年9月1日、東京・西新宿の「新宿アイランドタワー」に新オフィスを開設した。狙いは、営業エリアの拡大にある。野口祐介常務取締役は、「今後、千葉や神奈川に支店を開設する計画を立てています。そうした新しいエリアへの進出にあたって、まずは都心部に統括拠点を設けようと考えました」と説明する。

新宿オフィス開設に向けた準備は昨年12月に始まり、今年5月から社内の諸設備に関する具体的な“詰め”が行われた。その中で1つの課題となったのが、「電話システムをどうするか」ということだった。

同社では以前から、各拠点の電話設備がリプレース時期に差しかかってきたことを受けて、IPテレフォニー環境への移行に高い関心を持っていた。「IP電話サービスの利用による通話コ

スト削減に加え、LAN上で音声とデータを統合管理でき、PCと連携したアプリケーションも使えるなど、そのメリットは非常に大きいと考えていました」(野口常務)。

この考えを具現化するうえで、新規オフィスの開設は絶好の機会だった。そこで、IP関連の展示会などに足を運び、導入候補として国内ベンダー3社に相談を持ちかけた。しかし、いずれの製品にも信頼性、価格面、機能的な制約など、納得のいかない部分があった。

3週間でシステム構築完了

「もっとよいシステムはないものか」と、インターネットを使ってあれこれと検索を続けていた折り、日商エレクトロニクスのホームページが目止まった。同社が国内総代理店を務める米国Zultys Technologies(ザルティス・テクノロジーズ)社のIPテレフォニーシステム「MXシリーズ」だった。すぐに「話が聞きたい」と電話をかけた。

いわば偶然に見つけたこの製品が、結果的に同社の要望に一番適していた。制御装置となるSIPメディアサーバー「MX250」は、IP-PBX、アプリケ



エステート白馬
常務取締役
野口祐介氏

ーションサーバー、メディアゲートウェイの各機能を1台に集約。ハードウェアベースのため信頼性も高い。ネットワーク機器も含めた導入コストは、他ベンダーよりも3割程度安かった。

さらに野口常務は、採用を決めた“もう1つの理由”を次のように話す。「実は、先に声をかけたベンダー各社は、専門用語をさも当たり前のように使うので『不親切』と感じていたのです。しかし、日商エレクトロニクスの担当者は、知識の乏しいユーザーでも理解できる言葉で丁寧に説明してくれました」。

こうした製品面以外の評価は、システム導入時にさらに高まった。エステート白馬が正式発注したのは7月下旬。新宿オフィスのオープンまで1か月ほどしかないタイトなスケジュールの中で日商エレクトロニクスは、メーカーに対する納期折衝からシステムの設計・設置・チェックまでを約3週間で完遂したのだ。

拠点間のVoIP通話も試験運用

新宿オフィスに導入されたシステムは図のような構成になっている。

局線側は、通常の電話発着信用にフュージョン・コミュニケーションズのIP電話(050番号)サービスを採用。B

フレッツをアクセス回線として23通話チャネルを確保した。また、物件案内などのために広く告知しているフリーダイヤル番号の着信と緊急電話や障害対策用に、INSネット1500も引き込んでいる。

一方の内線側は、センター装置のMX250からPoE対応スイッチを介して、PCを直取可能なIP電話機「ZIP4×4」を44台設置。050番号は1人1番号ではなく、グループ着信機能を使って合計14番号を各部署に割り当てた。

さらに、全社的なVoIP環境への移行を睨んで、他の拠点にもZIP4×4を1~2台導入するとともに、NTT東日本の「フレッツ・グループアクセス」サービスでVPNを構築。新宿オフィスのMX250によるセンター制御で、拠点間VoIP網の試験運用も行っている。

業務効率向上にPCフォンも貢献

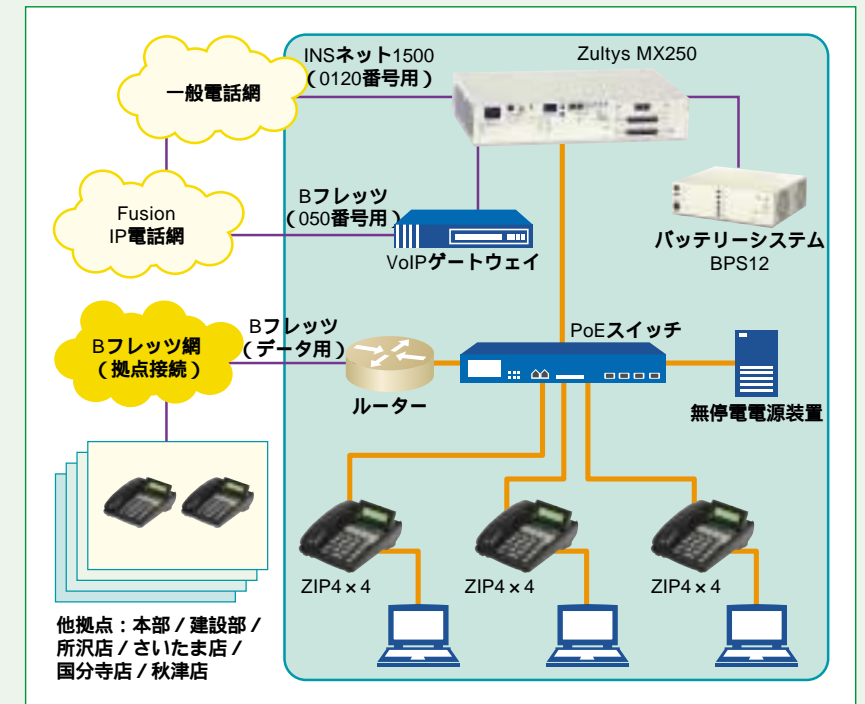
新宿オフィスに席を移した社員は業務開始当初、新しい電話環境に戸惑ったものの、Zultysの利便性を随所で感じ始めているようだ。

その1つが着信転送機能。例えば、外出が多い営業マンあてにかかってきた電話をそのまま携帯電話に転送で



新宿オフィス内に設置されたシステム(上:MX250、下:バッテリーシステムとPoEスイッチ)

図 エステート白馬・新宿オフィスのネットワーク構成



きる。以前のように、用件を聞いて外出先の営業マンに伝え、折り返し電話をかけるのではなく、顧客からの電話に迅速に対応できるようになった。

また、電話会議機能も評価が高い。IP電話機で“カンファレンス+内線番号”のボタンを押せば、最大5名で音声会議を行える。野口常務は、「ちょっとした打ち合わせならメールよりも手軽で、リアルタイムにやり取りできます。拠点間で使えば移動にかかる時間とコストを削減できます」という。

もう1つのポイントは、Zultysシステムに標準装備されているPCクライアント用ソフト「MXIE(ミクシー)」だ。IP電話機と接続することにより、PC上で電話機能やアドレス帳からのクリックツールドイヤル、プレゼンス機能、インスタントメッセージ、チャット、ボイスメール等々の機能を利用できる。

このソフトが、新宿オフィス内だけでなく、拠点間を頻繁に行き来する社員に受けている。「MXIEをインストールしたノートPCを持ち歩けば、どの支

店に行っても自分のデスクと同じ電話環境で業務を遂行できるのです」(野口常務)。

もちろん、業務効率の面だけではなく、IP電話サービスや拠点間VoIP網の利用によって通話コストに関しても少なからぬメリットを得ることができている。また、通話品質も、「思っていたよりもはるかに高品質。今までの電話と違和感は感じない」という。

エステート白馬では、他拠点の電話設備もZultysに順次切り換え、今後1年程度をめどに全社的な本格運用へとステップアップする考え。それに伴って、Zultysの多彩な機能によるさらに利便性の高い活用方法も生まれてくることだろう。

お問い合わせ先

日商エレクトロニクス株式会社

IPテレフォニー事業推進部

東京都中央区築地7-3-1

TEL : 03-3544-8278

FAX : 03-3544-7642

E-mail : zultys@nissho-ele.co.jp

URL : http://www.nissho-ele.co.jp



エステート白馬の新宿オフィスがある
新宿アイランドタワー

企業プロフィール

会社名 株式会社エステート白馬
本店所在地 埼玉県所沢市北秋津1167-5
設立 1992年12月18日
資本金 8000万円
代表取締役 大柳慎三
従業員数 120名(グループ全体)
事業内容 不動産の売買・仲介・管理、宅地造成分譲
及び建売、土木建築工事の設計及び施工、
建築工事請負業